

# 遠山森林鉄道梨元貯木場

(飯田市南信濃)



遠山森林鉄道の梨元貯木場跡。かつては木材景気に沸いた。飯田市南信濃で

## 木材景気の記憶を今に



27



古くから「遠山郷」と呼ばれる山深い谷に、かつて遠山森林鉄道（通称・林鉄）が走っていた。国道152号沿いにある梨元貯木場跡には、地元有志が復元した機関車と貨車が展示され、林鉄がもたらした木材景気の記憶を今に伝

える。

林鉄は一九四四（昭和十九）年十二月、梨元―大沢渡間一九・六キロが完成し、伐採された木材の輸送を開始した。五六（同三十一）年一月には、北又渡―西沢渡間一〇・九キロが開通。最盛期には貨車二百四十二台を数えた。

木材の伐採は民間企業五社が担当。各社は営林署に軌道使用料を払い、自社の機関車で木材を運んだ。林鉄は住民や南アルプスを目指す登山者の足としても活躍。地域に大きな経済効果を与えた。

しかし、伐採地が奥地に限られるようになったことなどから、採算が悪化。レールは七三（同四十八）年十月までにすべて撤去された。人々が夢を託した林鉄は、時代の流れに消えていった。

(中山道雄)